

# 公共社会学科案内2023

福岡県立大学 人間社会学部 公共社会学科

誰もがよりよい生を実現できるような  
社会の仕組みを考え行動できる人材を育てる

今日、紛争、差別、格差、環境破壊など国内外の地域社会には課題が山積しています。地球上に住むひとりひとりが当事者としてこれらの課題に取り組むことが求められています。

公共社会学科は、誰もがよりよい生を実現できるような社会の仕組みを考える学科です。社会学をベースに、政治学、経済学、教育学、地理学、情報学など幅広い領域を地域社会と国際共生に焦点をあてながら学びます。

特に力を入れているのが社会科学的な手法を用いた課題解決型授業です。社会調査実習では、地域の課題を発掘し、課題が生じる構造を社会調査で明らかにし、解決策を提言するまでの過程を学生が主体的に担い、課題解決能力を身に付けます。また、少人数制の授業では、教員や学生同士の対話を通して考える力や相手を理解しわかりやすく伝える力を養います。

人間に対する興味・関心が旺盛な人、国内外の地域が抱えている課題や社会現象に関心をもっている人、あなたの「なぜ？」を公共社会学科での学びを通して社会を変える行動の一步へとつなげてみませんか？

公共社会学科地域社会コース代表 佐野 麻由子

## 目次

公共社会学科の学び	1
「公共」の扉へ	2
カリキュラム構成	3
地域社会ネットワーク領域	4
アジア国際共生領域	5
ゼミ&教員紹介	6
教職課程・教育実習	10
社会調査実習・国際交流プログラム・交換留学	12
キャリア支援プログラム	13
活躍する卒業生	14



2022年 高等学校一種免許状(情報)教職課程スタート!



# Public Sociology



## ● 「公共」の扉へ

2022年度より高等学校公民科の新しい必修科目「公共」がスタートしました。その背景には、グローバル化や情報化により、現代社会には新たな課題がいくつも生み出され、私たちのくらしも先の見通しが立ちにくくなっていることがあります。そうした中では、私たち個々人が自立した主体として、他者と協働し、持続可能な社会づくりに参画すること——豊かな「公共」を育むことの重要性が高まっているのです。

本学科はこのような国レベルで認識されてきた問題意識を先取りし、社会学を中心に現代社会の諸課題にアプローチする様々なスキルを身につけ、自由な発想と深い他者理解をベースに、他者と協働し、より大胆に社会に働きかけられるアクターを育むことを目標にしてきました。本学科の卒業生のみなさんは、広く社会の各所で「公共人材」として活躍しています。

## ● 公共社会学科がめざす教育

私たちが生きる現代社会では、生活条件も考え方も異なる人同士が、地域社会で、そして地球規模で、互いに支え合うことが求められています。そして現代は、知識・情報・技術が急速に更新され、それらが私たちのあらゆる活動領域において重要な意味をもつ社会でもあります。公共社会学は、このような社会背景のもと多様な個性をもつ人びとが共に生きていける、新しい公共社会のあり方を探求する学問です。

本学科では、地域社会や国際社会が抱える課題に対して、教員と学生と一緒に向き合い、協働し議論を重ねます。大学4年間の経験を通して、現代社会で活躍するにあたり役に立つ、幅広い知識と分析スキルを修得します。

## ● 教育の特徴

### 〈問題意識を育み課題解決力を高める〉

本学科の教育は、学生たちが現代社会課題に対する問題意識を高め、課題解決にあたり役に立つ実証研究のスキルを身につけることを重視しています。学生たちは課題解決をめざして人びとが協働する「地域社会」「国際共生」というフィールドに参画し、多方面に渡る経験を通して課題解決力を高めます。新しい公共社会を具体的、多角的に考えられるように、「**地域社会ネットワーク**」「**アジア国際共生**」という2つの履修領域を設けています(詳細は4頁)。

### 〈情報化社会に対応できる基礎能力を身につける〉

現代社会課題に、社会調査・情報処理の基礎能力を活用してアプローチする力を、実習や演習を通して身につけます。**本学科は2022年度より高等学校教諭一種免許状(情報)の教職課程を設置しました。**社会課題に向き合う経験と併せて、卒業後の様々な場面で役立つスキルを身につけます。

### 〈公共社会学科が重視する4つのポイント〉

- 1 新たな公共性、地域社会、国際共生の視点を培う。
- 2 コミュニケーション能力、リサーチ能力、ITスキルを習得する。
- 3 社会のニーズを的確に把握する調査力、分析力をつける。
- 4 問題解決への企画・提案力や調整力の基礎を培う。





## ●カリキュラム構成

社会学と公共性をベースに、現代社会の諸課題を、ローカルに、グローバルに探求するカリキュラムを用意しています。あなた自身で学びをコーディネートできます。

**<1年次>** 全学共通科目を履修するとともに、社会学、社会調査、情報処理の基礎を学びます。

**<2年次>** 現代社会課題、地域社会ネットワーク、アジア国際共生の関する科目群から、各自の関心に沿った学習を組み立てていきます。1年次に学んだ社会調査・情報処理の能力をさらに伸ばすとともに、社会調査実習に取り組むことを通して応用力を養います。

**【社会調査実習】** 調査の企画から実施、分析、報告書の作成に至るまでを学生が主体となって行います。社会の動向が表しているものを見極める能力を身につけます(詳細は12頁)。

**<3年次>** より高度な専門科目を学びつつ、関心のある分野のゼミに入り、課題を設定し、原因を考察・分析する力を磨きます。

**【公共社会学研究】** 本学科には、社会学だけでなく政治学、経済学、教育学、地理学、情報学など幅広い専門領域のゼミ(演習)があります。少人数(原則6人以下)で文献を読んだり、グループや個人による研究を進めたり、ディスカッションを行ったりします(詳細は6頁)。

**<4年次>** 自身で研究課題を設定し、卒業論文を執筆します。1年次から身につけてきた知識やスキル、思考力の集大成です。教員の指導を受けながら、疑問を見出し、実態を把握し、検証・考察をへて結論を導き出す、一連の論じる力を身につけます。

## ●資格・キャリア支援

### 〈キャリア支援プログラム〉

学生一人ひとりが将来の目標を定め、その実現に向け自律的に進んでいけるよう、本学科では5つのキャリア支援プログラムを設けています(詳細は13頁)。

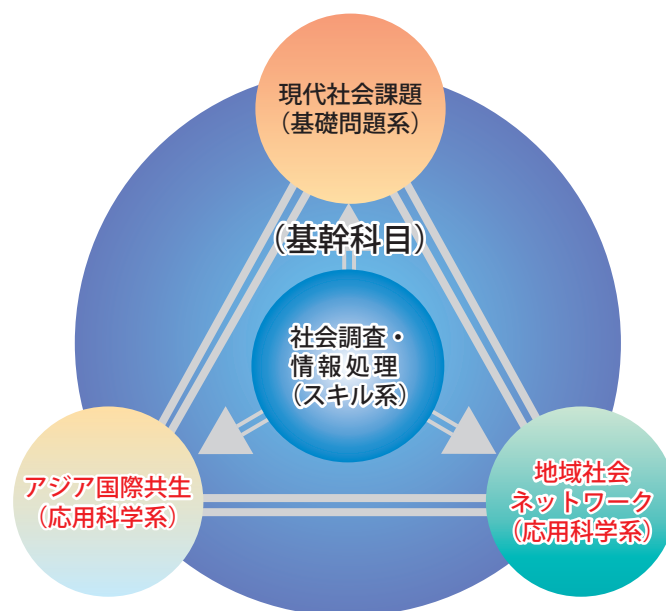
- (1) 社会調査士資格取得支援プログラム
- (2) 教職免許取得支援プログラム
- (3) 情報処理関係資格取得支援プログラム
- (4) 公務員受験支援プログラム
- (5) ビジネス・スキル修得支援プログラム

本プログラムは、大学での学びと卒業後の進路を有機的に結びつけることをねらいとしています。専門教育の各段階で、将来の進路形成について自分自身で考えられる機会を設けるように工夫しています。

ほかにも本学では、全額横断型教育プログラムによる就業力強化支援、キャリアサポートセンターによる就職活動相談など、幅広い進路支援を行っています。

### 〈取得できる資格・免許〉

- ◆ 社会調査士
- ◆ 中学校教諭一種免許(社会)
- ◆ 高等学校教諭一種免許(公民)
- ◆ 高等学校教諭一種免許(情報)
- ◆ 上級情報処理士
- ◆ 社会福祉主事任用資格



Think Globally, Act Locally!



# 地域社会ネットワーク領域

**Q 地域社会ネットワーク領域が目指す教育は？**

**A 持続可能な地域社会の担い手の育成**

人口減少と少子高齢化の進展、近隣関係の希薄化など、現代社会は大きな変化を経験し、地域社会においてはさまざまな生活課題が浮かび上がってきています。地域社会における多様な生活課題に対処し、持続可能な地域社会を構想していくためには、人々の生活に向き合い、地域住民、地域団体、ボランティア団体・NPO、企業、自治体などさまざまな人々、団体がつながりながら協働していくこと——公共を構想し築くことが大切です。多様な立場にある人々と協働し、持続可能な地域づくりを意欲的に推進していくことができる人材の育成を目指しています。

**Q 地域社会の視点で何を学ぶか？**

**A 地域社会の仕組みや地域課題、課題解決過程を学びます**

地域社会の構造や機能、現代日本の地方自治のしくみと動向、住民参加の地域づくりの現状と課題などを考える、充実したカリキュラムを設けています。それぞれの地域社会の中で人々はどのような生活を送り、そこにはどのような生活課題が見られ、それらの生活課題を解決するには地域住民、地域団体、ボランティア団体・NPO、企業、自治体はどのような役割を果たしていけばよいのか、社会学・政治学・地理学・経済学などの観点から学びます。

**Q 「現地(フィールド)に出かける」とは？**

**A 地域課題について現場で調査しながら考えます**

地域社会の現状についてウェブサイトや統計データ、文献資料で研究することはもちろん大切です。しかしそれだけでは、実態がわかったとは言えません。現地(フィールド)に出かけてその雰囲気を感じ、そこに住む人々と話し、地域社会の自慢や悩みに耳を傾けてみましょう。福岡県は旧産炭地からの転換を図る筑豊地域、福岡市と北九州市という異なる特性をもつ大都市、豊かな自然と農林水産業が盛んな筑後地域という、多彩な地域で構成され、アジアとの関係が深い県でもあります。多様なフィールドに出て学ぶことで、地域のさまざまな景観や暮らしに触れ、地域社会の奥深さを感じることができるでしょう。



公共性の社会学



社会統計学 I



地域社会分析法C

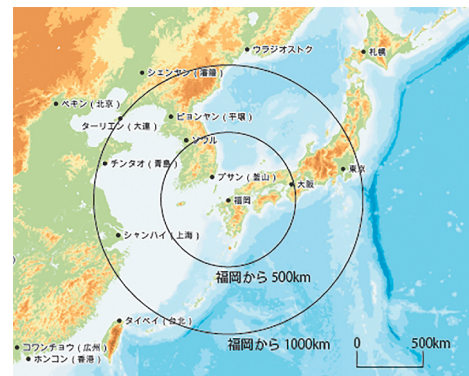


## アジア国際共生領域

### Q アジア国際共生領域が目指す教育は？

#### A 地域と国際社会をバランスよく結んで活躍できる人材の育成

外国人の受入れ拡大へと舵を切り、国内各地でも多文化共生を掲げた政策や窓口が設置され始めた日本。異なる文化や宗教、言語を持つ人々と、違いを認め合い、共存していける国際的知見を培いながら、地域でも国外でも、多様化が進む社会に対応できる、バランスのとれた人材が、ますます必要です。地域社会に軸足を置く本学科は、地域と国際を切り離さず、国際的な視野を持ちながら地域で活動できる人、地域の状況を理解しながら国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



「地理院地図」より作成

### Q 国際共生の視点で何を学ぶか？

#### A グローバル化の中で多様な人々と共に生きる社会について学びます

社会学と政治、経済、文化、歴史学などを、国際的な視点で横断的に結んで学びながら、共に生きる世界には何が必要かを考えます。政治学分野では、伝統的な国家間関係では捉えきれない、様々なアクターが関与する今のグローバル社会を「人間の安全保障」という新たな枠組みで見直します。経済学分野では、国家間の経済活動に関する理論・歴史・政策を広い視野で学びながら、アジア地域を中心とするビックイシューを考えます。社会学分野では、豊かな国が富む一方、貧しい国がますます貧しくなる理由や、異なる文化への寛容性が国や地域で違う背景にある制度的、文化的要因などを学びます。

修領域

Globally



地域社会ネットワーク領域

公共性

### Q 福岡の地で国際共生を学ぶ意義は？

#### A 国を超えて地域が結びあう多様な世界像を学べる点

世界と結ぶ独自のルートがある福岡には、国連ハビタットやジェットロ福岡、JICA九州など国際的な諸機関が拠点を置き、NGO活動も盛んです。福岡を代表する基幹産業（鉄鋼や環境分野）を中心に周辺諸国間の企業交流や人材交流も活発で、東アジア経済ブロックの中で重要な役割を果たしています。

福岡から中国最大の商業都市・上海までは545マイル、東アジアのハブ空港があるソウルまでは337マイル。東京(566マイル)や大阪(289マイル)と同距離にあるアジアの拠点と直接繋がる福岡に立脚すると、国を超えて、地域と地域が直接結びあう多様な世界像、その中で地域が果たす役割を考えることができます。



国際社会学A



都市社会学



多文化社会論



# ゼミ & 教員紹介

## ● 実社会で役立つ実践的な経験から学ぶ



岡本ゼミでは、国際的な視点に立ちながら、政治や文化、歴史に関わる社会学を学んでいます。今はゼミ生同士で話し合いたいテーマを持ち寄り、ディスカッションをしています。発題者が①動機(理由や背景)、②目的と論点(何を話し合い、明らかにしたいか)、③基礎情報(議論のベースとなる根拠やデータ)を提示し、各自が考えてきて議論に臨みます。例えば、私は今「日本の若者はなぜ選挙に行かないのか？」をテーマにディスカッションをしています。ディスカッションや討論に興味がある人や、議論を通して自分の興味があることを掘下げたいと思う人に魅力的であると思います。

岡本先生は、元国連NGO職員で、中国留学やアメリカの大学の客員研究員など海外経験を豊富に積んでこられました。その経験をもとに、膨大な知識、幅広い視野、多角的な視点をもとに一人一人に合ったアドバイスやサポートをさせていただきます。

多種多様なことに興味を持つ人が集まり個性豊かな岡本ゼミであなたも自分の興味があることを深掘してみませんか。

公共社会学研究I (岡本ゼミ)  
堺 郁翔 (福岡県)

## ● 国際比較の視点から社会について学ぶ



佐野ゼミでは、国際社会学を中心とした社会学の枠組みから、グローバル化によって引き起こされる社会問題や、地域社会の諸現象について研究しています。

3年次前期は、『ファッションで社会学する』という文献を選定し、講読しました。ファッション界で起きている問題や現象から、世界規模の格差、ジェンダー、メディアのもたらす影響など国際的な社会問題がみえてくるのは、とても面白いです。ゼミ生の興味関心は、アイドル、聖地巡礼、音楽、報道、幸福感、環境問題と様々ですが、文献の考え方も応用でき、ディスカッションでは、それぞれの視点から意見を出し合えるため、新たな気づきや関心につながっています。

3年次後期からは、前期の学びも踏まえ、各自で研究課題を設定し、卒業論文作成に向け、論文作成に必要な技能を習得していきます。

自分の意見を言葉にすることは難しいですが、佐野先生はじっくり話を聞いてくださり、的確なアドバイスや問いかけもくださるので、自分で考え言語化する力を養えているなど実感しています。あなたの関心事を、日本と世界を行き来しながら研究してみませんか？佐野ゼミでお待ちしています！

公共社会学研究I (佐野ゼミ)  
笹井 美伽 (福岡県)



岡本 雅享

Masataka Okamoto

**【専門】**政治社会学・国際学・民族学

**【略歴&研究内容】**

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了(博士(社会学))。国際学修士(横浜市立大学国際文化研究科)。

学部生時代から日本と欧米のマイノリティ、移民政策を比較研究。大学卒業後、中国(北京師範学院、中央民族大学)に1年半留学し、少数民族二言語教育の調査研究を行う。帰国後、国連NGOに就職し、国連を中心とした人権

活動に従事。大学院進学を経て本学着任。サンフランシスコ州立大学民族学部(College of Ethnic Studies)に客員研究者として1年在籍。近年は日本型Nation Building & Ethnic Studiesとしての出雲学の構築を探究。明治学院大学国際平和研究所(PRIME)及び大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター(CAPP)客員研究員。

研究テーマは民族研究、多文化政策、国連人権活動など。

**【主な業績】**『出雲を原郷とする人たち』藤原書店(2016年)、『民族の創出』岩波書店(2014年)、『中国の少数民族教育と言語政策』社会評論社(2008年)など

**【担当科目】**政治学、国際政治学、多文化社会論、東アジア関係史など



佐野 麻由子

Mayuko Sano

**【専門】**社会学・開発援助と社会学・ネパール地域研究

**【略歴&研究内容】**

立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了(博士(社会学))。立教大学社会学部助教を経て2012年10月に本学着任。

博士前期課程在籍中に立教大学派遣交換留学生としてネパール国立パドマ・カンチャ・キャンパス・ウイメンズ・スタディ・コースに在籍。

現在は、「ネパールにおける市場化・準市場化と男児選好」という研究テーマで女兒の選択的中絶や育児放棄の要因を解明することに取り組んでいます。

**【主な業績】**『国際社会学』有斐閣(分担執筆、2023年)、『戦後日本の開発経験』明石書店(分担執筆、2023年)、『2023年アジア動向年報』IDE-JETROアジア経済研究所(分担執筆、2023年)、『変容するアジアの家族-シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から-』明石書店(共編著、2022年)、『グローバル現代社会論』文真堂(分担執筆、2018年)、『公正な社会とは-教育、ジェンダー、エスニシティの視点から』人文書院(分担執筆、2012年)など。

**【担当科目】**

国際社会学A・B、国際協力論、NPO論、社会調査実習I・IIなど



※ ( )内の都道府県名は出身高校の所在地を示しています。



●ジェンダーについて学び、議論し、考察の質を高める



坂無ゼミでは、現在『情報生産者になる』(上野千鶴子著)という本を読んでいます。卒業論文はもちろん、学問に取り組む上で必要となる知識を学んでいます。章ごとに担当を決めてレジュメ作成と発表を行い、

全体で議論をしています。少人数ということもあり、発言しやすい雰囲気です。ゼミの議論では一人では浮かばない考えや意見を聞くことができ、刺激をもらうことができます。本の内容を理解してまとめるだけでなく、議論を展開して思考を深めていくのはゼミの醍醐味であり、貴重な経験になると思います。ゼミでは坂無先生の専門であるジェンダーや社会統計学はもちろん、様々な知識を得られます。また、多様な分野に興味を持った学生が集まっているため、多くの発見があります。4年生の先輩が取り組んでいる卒論や研究の話聞く機会もあります。

私はまだ研究テーマが定まっていませんが、ゼミで得た知識や考え方を参考に、自身の研究テーマを決めていきたいと思っています。研究テーマが決まっている方もそうでない方も、コミュニケーションを取りやすく、議論を展開しながら研究を深めることのできる坂無ゼミで共に学んでいきましょう。

公共社会学研究Ⅰ(坂無ゼミ)  
森木 萌唯(北海道)

●都市問題と移民問題、日中関係などについて考える



陸ゼミでは、移民問題、都市問題、日中関係などの諸問題を研究テーマにし、社会現状や仕組みについて深く学びます。

3年生の前期は、文献『移民と日本社会』(永吉希久子著)を用いて輪読を行いました。各章をまとめる担当者を決め、担当者はレジュメを作成し発表を行います。発表の際には、適宜意見や感想を述べる機会が設けられるため、自分の意見を表現する力が身につくだけでなく、陸先生やゼミ生の意見を聞き、内容理解が深まり視野を広げることができます。また、中国のご出身である陸先生は海外経験も豊富なため、国際的観点から物事を捉えています。先生のお話を聞き、私たちゼミ生は多面的・多角的に物事を見る力が養われています。

さらに、私たちが扱っているテーマの規模は大きく、意見が分かれるようなこともあります。陸先生はゼミ生一人一人の意見を聞き、出された意見にフィードバックを丁寧に行ってください。そのため、自分の意見が述べやすく、全体の雰囲気が和んでいることが陸ゼミの魅力です。

移民問題や都市問題に興味がある方はもちろん、国際関係に興味がある方もぜひ陸ゼミと一緒に社会問題を学びましょう。

公共社会学研究Ⅰ(陸ゼミ)  
五島 若菜(福井県)



坂無 淳  
Jun Sakanashi

【専門】社会学・ジェンダー研究・社会調査法

【略歴&研究内容】

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。山形大学男女共同参画推進室、立教大学コミュニティ福祉学部助教を経て、2017年4月に本学着任。

私の専門は社会学とジェンダー研究です。主に社会調査でデータを集め分析することで、社会的に何が明らか

になり、また、どのようにジェンダー平等を達成できるかを研究しています。そのスキルの一つである統計分析は、無味乾燥で苦手意識のある方もいらっしゃるかもしれません。しかし、そのデータの背後には回答してくれた人の生活があります。データをとる、仮説を検証する、新しい発見が生まれる、データをもとに他の人と議論することは楽しく、また今後、色々な場面で役立つはず。皆さんと一緒に勉強できるのを楽しみにしています。

【主な業績】『社会はこうやって変える!——コミュニティ・オーガナイズング入門』(分担翻訳, Matthew Bolton, How to Resist: Turn Protest to Power, 法律文化社, 2020年)。「大学教員の研究業績に対する性別の影響」『社会学評論』65(4): 592-610, 2015年ほか

【担当科目】統計学、データ分析の基礎、社会統計学Ⅰ・Ⅱ、ジェンダー論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど



陸 麗君  
Lu Lijun

【専門】都市社会学・エスニシティ研究・中国の地域研究・中国語教育法研究

【略歴&研究内容】

一橋大学社会学研究科博士課程修了(博士(社会学))。農林水産省農業総合研究所(現農林水産政策研究所)特別研究員、(中国)華東理工大学社会与公共管理学院准教授を経て2019年4月から本学に着任。

これまでグローバル化のなかの都市コミュニティに焦点をあてた研究を進めてきた。現在は主に日本における華僑・華人の起業とコミュニティ、中国の「農民工」の国内移動と都市コミュニティ問題、日中コミュニティの比較に関する調査研究に取り組んでいる。

【主な業績】『さまよえる大都市・大阪—「都心回帰」とコミュニティ』東信堂(共著 2019年)、『中国の「村」を問い直す』明石書店(共著 2019年)、『グローバル都市大阪の分極化の新たな位相—日本型ジェントリフィケーションの多様性』URP「先端都市研究」シリーズ17 大阪市立大学都市研究プラザ(共著 2019年)など。

【担当科目】都市社会学、中国の社会と文化、中国語など





# ゼミ&教員紹介

## ●都市問題、社会問題へのアプローチの仕方を学ぶ



堤ゼミでは、社会への問題意識を大切に、私たちゼミ生が興味のある社会問題を学問的に捉えられるようになることを目指します。ホームレスの人々への調査と研究を専門とする堤先生のもと、社会問題へのアプローチ方法も多種多様な

ものがあると学んできました。

3年前期では、ゼミ生全員で共通の文献を購入し『輪読』をしました。自分の関心に基づいて担当する章を選び、その内容をレジュメにまとめ、発表と質疑応答をします。ここで重要視されるのは、文献に書かれていることを正確に理解する力です。筆者は何を主張しているのか、それを読み取った上で初めて自分の考察を述べます。このような『事実と意見を分けて記述する』力は、学生の間だけでなく社会人になっても必要になるスキルであり、堤ゼミでは徹底的に鍛えられます。先生や他のゼミ生から鋭い指摘を受けることもあります。そのおかげで自分の成長を日々感じています。

関心のある事柄も目指す進路も、それぞれで異なる堤ゼミですが、一緒に成長できること間違いありません。

公共社会学研究Ⅰ（堤ゼミ）  
藤田 耕太郎（福岡県）

## ●フィールドに出て地域の実態を学ぶ



美谷ゼミでは人文地理学や地域行政論の視点から様々な地域課題について考え、学ぶことができます。ゼミでは自分たちが選んだテキストを使用し、輪読を通してそれぞれの意見や疑問点を交換する形で進められます。先生からの助言や

解説もあり、新しい理解を得たり知識を深められるので、ゼミの時間には多くの発見があります。また、ゼミの特徴としては、前期と後期にそれぞれ巡検という現地見学の実習があり、フィールドワークを通して実際に自分たちの目で地域を観察します。今年度の前期には県内の博多や天神、太宰府などの街を訪れました。巡検ではその土地の観光資源や名物料理にも触れることができるので、ゼミでしか味わえない思い出ができます。教室の中で知識をつけるだけでなく、実践や観察を通して自身の関心を深めることができるゼミになっています。

公共社会学研究Ⅰ（美谷ゼミ）  
田中 ひめ乃（長崎県）



堤 圭史郎

Keishiro Tsutsumi

【専門】社会問題と逸脱の社会学・都市社会学

【略歴&研究内容】

大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。2010年より本学に勤務。これまでホームレス問題に関する研究、生活困窮者支援モデルに関する研究などを行ってきました。現在は、生活困窮者自立支援制度に基づく「排除と差別」に抗する地域社会づくり、福岡市や北九州市におけるコミュニティ状況把握、農村部における持続可能な地域生活文化圏のありかたについて調査研究を進めています。

【主な業績】『The Bottom Worker in East Asia』Brill, Netherlands(分担執筆、2023年刊行予定)、『社会再構築の挑戦地域・多様性・未来』ミネルヴァ書房(分担執筆、2020年)、『さまよえる大都市・大阪—「都心回帰」とコミュニティ』東信堂(分担執筆、2019年)、『生活困窮者への伴走型支援—経済的困窮と社会的孤立に対応するトータルサポート』明石書店(共著、2014年)、『ホームレス・スタディーズ—排除と包摂のリアリティ』ミネルヴァ書房(分担執筆、2010年)など。

【担当科目】社会学A・B、社会病理学、社会変動と社会問題、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど



美谷 薫

Kaoru Mitani

【専門】人文地理学・地域行政論

【略歴&研究内容】

筑波大学大学院博士課程生命環境科学研究科修了(博士(理学))。宇都宮市職員などを経て2016年4月に本学に着任。

学部生時代から市町村合併に関心を持ち、合併という行政の枠組みの変化がその地域にどのような影響を及ぼしてきたのかについて、予算や人員といった行政の資源配分(具体的には事業費の配分や職員の配置など)に着目して研究してきました。

また、地方公務員時代には、主に、上下水道の部局で、事業の方針や計画を策定したり、予算の編成・管理を行う仕事などを担当していました。

今後は、「平成の大合併」と呼ばれる全国的な市町村の再編後15年強が経過することから、引き続き、合併に伴う行政の仕組みの変化やその結果としての地域社会・地域経済の変容を、丁寧な実態調査に基づいて明らかにしていきたいと考えています。

【主な業績】『地方行政の地域的文脈』古今書院(共編著、2012年)、『ローカル・ガバナンスと地域』ナカニシヤ出版(分担執筆、2017年)など

【担当科目】地理学、地理学概論、地域社会分析法C、地方自治論、地域計画論、社会調査実習Ⅰ・Ⅱなど



● 興味のある分野の課題解決について学ぶ



私は、石崎ゼミで「子どもスマートフォン利用に関する諸問題」について研究を進めています。石崎ゼミでは、各々興味のある分野について調べ、それをまとめた小レポートを一人ずつ発表して、お互いに意見や質問を言い合ったり、石崎先生から疑問やアドバイスをいただいたりし、さらに調べる内容や課題を理解して次のレポートの内容を決めていきます。他のメンバーの発表を聞くため、自分が知らなかった新たな分野の知識や見解についても学ぶことができます。

石崎先生は、物理の物理的性質や原子や分子レベルの構造に基づいて統計力学を使って解明していく物理学を専門としており、講義では、数学、情報処理、統計科学などを専門分野とされています。しかしゼミでは石崎先生の専門分野の他に保健、医療、福祉、教育、心理、環境、スポーツなど様々な分野において、自分の興味のある分野の課題解決に取り組むことができるので、やりたいことが決まっている人もゼミで様々な分野について勉強したい人も石崎ゼミで研究するのがぴったりです！

石崎ゼミでは自分の興味のある分野を中心に学びを進めていき、お互いにそれぞれの研究の進捗を発表し合うため様々な分野について学ぶことができ、自分の可能性が広がります。みなさん、ぜひ石崎ゼミで楽しく研究を進めていきましょう！

公共社会学研究Ⅰ（石崎ゼミ）  
森 夏音（島根県）

● 家族社会学について学ぶ



黒川ゼミでは家族社会学を専門とし、結婚や子ども、LGBT多様な家族の在り方などについて考えていきます。家族社会学の多様なテーマの中から、自分たちの関心があるものを中心に、議論を進めていきます。現在、私たち

は母親が抱える葛藤や子どもの意思決定についての文献を読み、議論を行っています。ゼミ生同士の意見交換は、新たな知見を得られる機会になりますし、家族という身近なテーマだからこそ、自分のこととして親や子どもについて考えることができると感じています。今まで持っていなかった視点から、自分の家族のことはもちろん様々な家族について学びの幅を広げることができます。

また、家族社会学だけではなく、卒業論文に向けて統計や分析方法についても触れることができるので、より卒業論文を意識して、自分の興味のある分野を深掘することができています。家族社会学について漠然と興味を持っている方でも、ゼミを通して、自分が研究したいことを具体的に見つけることができると考えています。ぜひ黒川ゼミで学びを深めていきましょう。

公共社会学研究Ⅰ（黒川ゼミ）  
甲斐 遥（大分県）



石崎龍二  
Ryuji Ishizaki

【専門】統計科学、数理物理・物性基礎論

【略歴&研究内容】

九州大学大学院理学研究科博士課程修了(博士(理学))。

自然や社会の現象を数理的に理解するためのモデル構築とその解析や新しいデータ解析法の開発などを行っています。最近是非定常時系列に対するパターン・エントロピー時系列による解析と応用に取り組んでいます。

抽象的な数理モデルの計算が多く、何を目的にして研究をしているのかわかりづらいと思いますが、対象とする現象の背景にある規則性・法則性の発見を目指しています。

講義・演習を通して、数学、情報処理、統計科学の面白さを伝えていきたいと考えています。

【主な業績】

1. Ryuji Ishizaki, Masayoshi Inoue, "Time-series analysis of multiple foreign exchange rates using time-dependent pattern entropy", Physica A, Vol.490, No.15 pp. 967-974, 2018.

2. 駒澤勉・橋口捷久・石崎龍二『新版 パソコン数量化分析』, 朝倉書店, 1998年.

【担当科目】情報科学、情報数学、プログラミング概論、

データ処理とデータ解析Ⅰ・Ⅱなど



黒川 すみれ  
Sumire Kurokawa

【専門】家族社会学、計量社会学、労働社会学

【略歴&研究内容】

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了(博士(社会科学))。東京大学社会科学研究所特任助教を経て、2022年4月より本学に着任。

女性が家族役割を担いながら、どのように職業キャリアを形成していくのかを研究しています。結婚、出産、就業など、人生におけるさまざまな出来事によって生じる地位や役割の移行に焦点をあてたライフコース研究です。夫婦の職業経歴と家族行動はどのように関連しているのか、個人の就業経歴が現在の就業行動にどのような影響を及ぼすのかについて、計量的手法を用いた分析を行っています。

マクロな社会変動とミクロな個人生活史とを関連づける社会的な視点を重視しながら、現代社会の家族と労働について考えています。

【主な業績】『検証・コロナ期日本の働き方意識・行動変化と雇用政策の課題』慶應義塾大学出版会(分担執筆、2023年)、『職場や働き方をめぐる個別労働紛争の男女比較分析』『超高齢社会における紛争経験と司法政策』(2021年)など

【担当科目】

家族社会学A・B、公共性の社会学、福祉社会学、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、社会学の分析法Bなど



## ゼミ&教員紹介

### ● 地域社会学や環境社会学、農村社会学等を学ぶ



福本ゼミでは、先生が専門とする地域社会学、環境社会学、農村社会学に関連した文献を読み、担当者がレジュメを作成し、皆で自身の体験などを通じた意見交換をしています。レジュメには、要約、意見や考えたことだけでなく、みんなに質問したいこと

も書くため、意見交換の幅が広がり、楽しく議論できます。また、意見交換をすることで、自分だけでは気づけなかった新たな発見があります。前期は、観光と環境に関する文献を読み、農村地域に目を向けています。私は観光について興味があるため、ゼミでの学習が大変役立っています。後期にはゼミ合宿も予定されており、フィールドワーク、聞き取り調査を行うため、実際に自分たちで調査するという貴重な体験ができます。

福本ゼミは、穏やかな雰囲気話し合えることが魅力だと思います。また、学生の意見を先生が専門的な観点からも深掘りして下さるため、学生の理解度がより深まります。地域社会について学べるのももちろんのこと、様々な学びを通して、自分を成長させることができます。みなさんもぜひ、福本ゼミでの学びを通して、自分を成長させましょう！

公共社会学研究Ⅰ(福本ゼミ)  
武田 晏弓(熊本県)



福本 純子  
Junko Fukumoto

【専門】地域社会学・環境社会学・農村社会学

【略歴&研究内容】

早稲田大学人間科学研究科修士課程を修了(修士(人間科学))。熊本大学大学院社会文化科学教育部博士後期課程単位取得退学。下関市立大学経済学部特任教員(地域貢献担当)等を経て、2021年に本学着任。

農山村地域へのフィールドワークを中心に、地域住民の方々にお話を聞きながら研究を進めています。主な研究テーマは以下の2つです。1つは、再生可能エネルギーとしての小水力発電です。農山村にある小水力発電について、地域での位置や役割を分析し、持続可能な地域づくりの方法を探求しています。もう1つは、過疎農山村の地域課題です。特に農業に関する課題(耕作放棄地、獣害、担い手問題など)に焦点をあてて分析し、これからの日本の農山村のあり方について考えています。

【主な業績】『生活環境主義のコミュニティ分析—環境社会学のアプローチ』ミネルヴァ書房(分担執筆、2018年)、『生産基盤縮小にみる集落の自律的再編—広島県庄原市の中山間地域における稲作の縮小を事例として』『熊本大学社会文化研究』17(2019年)など

【担当科目】

地域社会学、環境と災害の社会学、社会調査の設計、社会調査実習Ⅰ・Ⅱ、地域社会分析法Aなど

## 教職課程・教育実習

### 取得可能な教育職員免許状

- 高等学校一種免許状(情報) 2022年4月開始
- 高等学校一種免許状(公民)
- 中学校一種免許状(社会)

福岡県立大学人間社会学部公共社会学科では三種類の教員免許状を取得することができます。中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)、高等学校教諭一種免許状(情報)です。

公共社会学科では、新たな公共性、地域社会、国際共生の視点から、コミュニケーション能力や社会調査の分析力、問題解決への企画・提案力、さらにICTのスキルを身に付けます。こうした資質は、同時に現在の学校教育において、教員として必要な資質にも応用可能です。教職課程では教育学や心理学、さらに各教科にかかわる専門的事項などを学ぶことで、教員としての教育実践力の修得を目指します。

公共社会学科における学びを活かし、自己の成長につなげるとともに、教職課程を通じ、教員としての自覚と使命感、資質を体得してください。



### 高等学校教諭一種免許状(情報)が2022年度(令和4年度)より取得可能になりました!

2022年度(令和4年度)より、高校「情報」の教員免許状が取得できるようになりました。

公共社会学科の専門教育科目は、「基幹科目」「現代社会課題」「地域社会ネットワーク」「アジア国際共生」「社会調査・情報処理」「関連科目」から構成されています。

高校情報の教職課程は、学科の学位プログラム(学士(社会学))の体系性に配慮し、専門教科である「社会調査・情報処理」科目群の専門性をベースに教育課程を編成、認可されました。

高等学校の教科「情報」では、令和4年度入学者から「情報」が必修となっており、情報社会の問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育むことが教育目標となっています。本学の情報の教職課程では、こうした力をさらに伸ばすために、「データ分析の基礎」「プログラミング概論」「マルチメディア論」「地理情報システム論」「情報ネットワーク演習」「データベース論」「情報ネットワーク論」等の豊富な科目群を開設しています。

また、高等学校の選択科目の教科「情報Ⅱ」では、「情報Ⅰ」を学んだ上で、情報や情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を育むことが教育目標となっています。本学の情報の教職課程では、こうした力をさらに伸ばすために、「社会統計学Ⅰ・Ⅱ」「データ処理とデータ解析Ⅰ・Ⅱ」等の豊富なコンピュータ・情報処理の科目群を開設しています。





さらに、本学では、どの学部の学生も学べる全学横断型の教育プログラムとして、統計・情報の知識を保健福祉分野での課題解決に活用できる力を養成するデータサイエンス・プログラムが開設されています。「データベース論」「情報ネットワーク論」「Webデザイン演習」「プログラミング演習」「情報検索システム論」「個人情報法制」等のデータサイエンス・プログラムの科目は、学科の専門教育の「関連科目」群に配置され、高等学校の情報科を教授するのに必要な内容をより深く学べるように編成されています。



● 高校情報免許の知識は高度情報化社会を生きる重要な力に

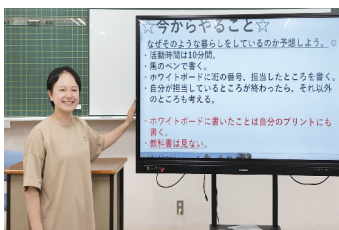
1年次では不正アクセスなどのサイバー犯罪に対する情報セキュリティについて学習します。また、実際にコンピュータを用いたデータ分析の方法についても学習します。当初は情報機器を利用することに対して、強い苦手意識を感じていました。しかし、担当の先生方による丁寧なご指導や他の受講生からのサポートを受けていく中で、情報機器の利用に対する苦手意識は徐々になくなり、自身の成長を実感することができています。講義外においても質問に対応する時間が十分に設けられており、自分のペースに合わせて学習を進めることができます。2年次ではネットワークシステムの構成や周辺技術について学習します。また、プログラミングの基本的な概念や技法についても学習します。1・2年次の延長線上として、3年次では個人情報の保護や利用について、法制度と絡めて学習します。また、社会学・心理学・教育学等の幅広い分野に必要な統計解析についても学習します。

教職課程では、2022年度より高等学校教諭一種免許状（情報）を取得することができるようになりました。教員免許状の取得を目指すことで、同時に上級情報処理士資格に関する知識も身につけることができます。情報機器に関する知識を身に付けることは教職にとどまらず、現代の情報化社会を生きていく上で非常に重要です。福岡県立大学で学んだ知識を将来に活かしていきたいと思えます。

公共社会学科3年 村橋 要（福岡県）

● 教職課程の学びを成長につなげる

教職課程では、少人数制で充実したサポートのもと、教育分野の基礎や授業を実践する上で必要な知識、技能を学ぶことができます。1・2年次では教育学の基礎を学び、3年次では模擬授業として実際に50分間の授業を行うことを経験しました。授業準備段階での学習指導案づくりや振り返り、意見交換を通じて、自分だけでは気付くことのなかった問題点や課題を発見し、次回以降への改善につなげました。2・3年次には社会福祉施設や特別支援学校での介護等体験を通じて、講義だけでは学べない貴重な体験を得ました。また、3年次の学校インターシップでは中学校の教育活動に実際に参与することで、現職の先生方の授業や生徒とのかかわり方に接して実践的な学びを重ねました。



4年次の5月末から6月中旬まで教育実習に行きました。授業は社会科の地理的分野「世界のさまざまな気候」を担当しました。教科指導では、担当の先生の授業を参観したり、指導案を作って実際に授業を体験しました。授業づくりを通して、資料の選び方や授業時間の配置など、講義や模擬授業だけでは分からなかったことを学ぶことができました。そして、休み時間は生徒と話をしたり、遊んだりしました。私は剣道をしているので、放課後には剣道部にお邪魔して一緒に稽古しました。生徒と多くの時間を共にすることによって、生徒との信頼関係が生まれ、それは後々、生徒指導をする際に生徒が自分の声に耳を傾けてくれるようになるのだと感じました。実習中、授業が思うように行かなくて落ち込んでいるときに、生徒から「先生の授業は分かりやすく面白いです！」と言ってもらえて、とても元気づけられたことが1番の思い出です。教育実習を終えて、さらに教員になりたいと思う気持ちが強くなりました。

公共社会学科4年 清水 凜（福岡県）



藤澤 健一  
Kenichi Fujisawa

【専門】教育学・教育制度学・教育政策学  
【略歴&研究内容】

筑波大学大学院博士課程教育学研究科。2000年より本学に勤務。教職課程のうち基礎的な事項にかかわる講義を中心に担当。研究分野は、教育の管理運営にかかわる歴史分析です。とくに小学校を中心とした教員の組織、団体、制度・政策に関する研究に取り組んでいます。教師という職業の本質とはなにか、それは歴史的にどのようなであったのか、また、理念としてどのようなあるべきかを考えています。

【主な業績】(共著)教育制度研究会編『要説 教育制度』新訂第三版、学術図書出版社、2011年、(単著)『近代沖縄教育史の視角—問題史的再構成の試み』社会評論社、2000年、(編著)『沖縄の教師像—数量・組織・個体の近代史』榕樹書林、2014年、『移行する沖縄の教員世界—戦時体制から米軍占領下へ』不二出版、2016年。

【担当科目】教育学概論B、教師論、教職実践演習、教育実習事前事後指導など





## 社会調査実習

### 田川市の中小企業振興についての調査

社会調査実習は、10人程度のグループに分かれてそれぞれでテーマを設定し、インタビューや質問紙調査の企画から実施、得られたデータの分析、報告書の作成に至るまでを学生が主体となって行う実習の授業です。今年度は、「田川市の中小企業振興についての調査」、



調査項目について意見交換

「市町村合併の地域社会・地域経済と住民生活への影響」、「田川市の地域変動と中学校統廃合」の3つのグループで調査を進めています。

私たちの実習グループでは、2017年に田川市産業振興会議・実務責任者会議が実施した「田川市中小企業振興基本調査」に基づき、市内事業所の課題、および、その経年変化を明らかにすることを目的に田川市産業振興会議・実務者会議との協働により調査を行っています。同会議は、中小企業経営者、商工会議所、企業家同友会、県立大学、県立高校のメンバーによって構成される官・民・学の会議です。

実習では、同会議のなかでの中小企業経営者が経営の基本を学ぶ場の開設を担う第1部会、地域の課題を解決するソーシャル・ビジネスの推進を担う第2部会、生活者と事業者をつなぐ地域プラットフォームの構築を担う第3部会、地域で若者を育て地域に若者を残す活動を担う第4部会の活動を汲んで4つの班に別れて作業しています。

これまでの実習では、中小企業の経営実態に関して受講生間で調べたデータに基づき意見交換を行ったり、実際に企業経営者をお招きして、起業するまでの取り組みや経営する上で大事にしている理念などをおうかがいしたりすることで、田川市の中小企業の現状と課題を把握しました。また、フィリピンの大学から先生をお招きし、一緒にフィールドワークを行ったことで田川の歴史や地域の人々がまちの記憶として何を大切にしているのかまちの様子を確認することができました。今後は田川市内の中小企業を対象に質問紙調査を行い、年度末までに、これらの調査結果を分析し報告書にまとめる予定です。

専門科目で調査方法について学んできましたが、実際に問いと仮説をたて、それを検証するための調査項目を選定する難しさを実感しています。単に思いついた疑問を問いとするのではなく、先行研究をふまえた上で問いを設定し、問いが明確化して初めて調査が起動します。慣れないことも多く、大変だと感じることがありますが、学んだことをいち早く実践できる良い機会だと考えています。この社会調査実習で得た知見や能力は、これからの学びにも深くつながり、個人研究にも生かされていくと思います。また、何より調査結果を田川市産業振興会議・実務責任者会議の今後の取り組みに生かしてもらえるよう最後までやり遂げたいと思います。

社会調査実習 (佐野グループ)  
島田 柚 (長崎県)  
宇津宮 奈波 (広島県)



フィールドワーク (田川市石炭・歴史博物館・石炭記念公園)

## 国際交流プログラム・交換留学

### 留学は人生の中で最も楽しく、学びと成長の多い時間！

私は韓国の三育大学校に1年間留学をしました。そこで韓国の方だけでなく世界各国から来た方々と出会い、異文化にもたくさん触れることが出来ました。留学当初は言葉の壁を感じることもあり、悔しい思いもしました。しかし、同時期に留学に来た友人や先生方の手助けを受け、少しずつコミュニケーションを取れるようになりました。母国語が違う方と、勇気を出して交流できたときはとても嬉しかったです。今では留学前の自分より、人に積極的に話しかけ、自分の意見を伝えることができるよう成長したと感じます。



授業後や週末は、外国人交流サークルに参加したり、留学先で出会った友人と韓国の様々な場所に出掛けたりしました。自分と食文化や信仰の異なる友人とも、共に過ごしていく中で互いを理解することができました。留学の経験は私に語学力、挑戦する力、大切な友達を与えてくれました。

最後に、留学を通して持ったこれからの目標は日本に居る外国の方を手助けする職業に就くことです。留学中色々な方に助けてもらったので次は自分が助ける側となり、より生活しやすい環境づくりをしていきたいです。この留学は人生の中で最も楽しく、学びと成長の多い1年間でした。

公共社会学科3年 命婦 来奈 (福岡県)

### 海外語学実習 (UKプログラム) 再開！

8月19日から9月3日の2週間の期間に行われる、イギリス語学実習にこの度参加させていただくことになりました。



本実習では、実際にイギリス現地に向かい、生きた英語を肌で感じながら学習をしていきます。また、イギリスの大学に通う学生とも交流を行い、親睦を深めていくことも目的としています。語学だけではなく、現地の史跡や世界遺産等にも足を運び、イギリスの文化や歴史などについても触れることができます。ホームステイもさせていただくため、イギリスでの暮らしを体験することも可能です。

私自身、英語がそれほど得意というわけではなく、語学実習に対して正直、不安や焦りがありました。しかし、引率して下さる教授は経験豊富で、事前指導等も行われるため安心することができました。大学からもたくさんの支援があるため、心配する気持ちが少なくなりました。

新型コロナウイルスの影響により、イギリス語学実習はここ数年の間中止という形をとってきました。今年度より再開ということで、幸運なことに私は4回生で最後のチャンスを掴むことができました。この貴重な機会を大切に、イギリスの語学、文化、歴史等をしっかりと学んでこようと思います。

公共社会学科4年 大山 颯太 (鹿児島県)



## キャリア支援プログラム

### 交換留学協定校

#### 中国



南京師範大学 (江蘇省南京市)



珠海科技学院 (広東省珠海市)

#### 韓国



大邱韓醫大学校 (大邱市)



三育大学校 (ソウル市)



威徳大学校 (慶州市)

公共社会学科では専門教育と連動したキャリア支援プログラムを設けています。本学科で学んだ公共性や地域社会・国際共生に関する専門的な知識、リサーチや分析能力を、各自のキャリア形成を展望しながら応用し、活用するためのプログラムです。

学生はそれぞれの進路希望に応じて自由にプログラムを選択できます。

なお、大学内のキャリアサポートセンターと連携し、組織的に就職情報の収集を行い、企業インターンシップの促進など学生のキャリア支援を強化します。

### 1 社会調査士資格取得支援プログラム

社会調査は生活の実態や社会的課題を明らかにする技術です。たとえば、市町村が何かの計画を立てようとする際の住民ニーズの把握や実現方法の選定に用いられます。そして、社会調査の技術の基礎を習得している人に与えられるのが、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格です。資格取得に必要な科目は公共社会学科のカリキュラムに全て含まれています。キャリア支援プログラムでは、社会調査の応用——授業や実習で習得したデータ収集・分析とそれに基づく企画能力が企業や行政などでどのように利用されているかなど——について認識を深めるとともに、社会調査協会や日本社会学会の最新の動向を情報提供し、資格申請手続きを円滑に行えるよう指導します。

### 2 教職免許取得支援プログラム

公共社会学科では高等学校教諭一種免許状「公民」「情報」と中学校教諭一種免許状「社会」が取得できます。本学科では、現代社会の諸問題の分析と高度福祉社会構築への実践的提案力を活かして子どもの教育に独自の貢献をすることができます。

カリキュラムとは別に、職業としての教職という側面から関連する情報を提供し、互いに意欲を高めあって進路選択に活かせるよう支援していきます。次の2項目を目標にします。

- (1) 教職の現状(学校現場、教職の展望等)について認識を深める。
- (2) 教員採用試験の現状を知り受験準備のための意欲を高める。

### 3 情報処理関係資格取得支援プログラム

#### 上級情報処理士

本学の所定の単位を修得すれば、上級情報処理士の資格を取得することができます。

上級情報処理士は、全国大学実務教育協会が認定する資格です。次の4点が教育目標となります。

- (1) 高度な情報処理技術の応用を身につける。
- (2) ビジネスで活用されるソフトウェア技能の応用を身につける。
- (3) プレゼンテーション能力の応用を身につける。
- (4) オフィスの組織や情報の流れを活用する技能を身につける。

上級情報処理士の資格を取得することは、以上のコンピュータを使いこなせる技術が身についたことの証になります。

#### マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS)

本学は、隣接するたがわ情報センターと連携し、MOS資格取得講座を開講しています。MOSはエクセルやワードなどのマイクロソフトオフィス製品の操作スキルを証明できる資格です。マイクロソフトオフィスは、現在、多くの職場で活用されている代表的なアプリケーションソフトです。

この認定資格は、企業での認知度が高いため、就職活動前に取得しておきたい資格です。



## キャリア支援プログラム

### 4 公務員受験支援プログラム

公共社会学科では、公共性の社会学やコミュニティ論、地方自治論など、地域社会や地方自治について学ぶさまざまな専門科目を開設しており、学科の目標や学習内容から、特に地方公務員はキャリア形成を考える際の選択肢の一つだと言えます。

全学的には、2・3年生を主な対象とした教養試験対策講座が開設されており、本学科の公務員志望者にもこの講座を受講するように勧めています。また、地方自治体の現場でのインターンシップを経験する学生も多く見られます。

学科独自のプログラムとしては、公務員志望者向けの履修モデルを提示したり、近隣の自治体職員の方や官公庁に就職した学科のOB・OGを招いて、業務内容や試験対策について何うセミナーを実施しています。

学科で開設している科目においても、自治体研究の手法を取り上げるものや、実際にフィールドに出て地域の課題を明らかにする実習科目などもあり、これらを受講することで二次試験以後の対策にもつながるように指導しています。



「先輩に聞いてみよう」

### 5 ビジネス・スキル修得支援プログラム

本学では、全学のキャリアサポートセンターを中心に、進路・就職ガイダンスや業界研究のセミナー、合同説明会へのバスツアーなどが開催されており、個別相談や面接対策も実施されています。また、キャリア教育の一環として、授業として位置づけられる1年次でのインターンシップなども開講されています。公共社会学科では、これらの取組みを補完する形でセミナーの開催や相談への対応を実施しており、自己分析、履歴書やエントリーシートの作成、業界研究など、就職活動に必要なスキルを修得できるように支援を進めています。

ここまでに掲げた教職や情報関連、公務員試験等の4つのプログラムのなかでも、上記のスキルを修得できるように支援していますが、それに加えて、民間企業向けの就職活動については、4年生の内定取得者や卒業生などから体験談等を聞くセミナーなども開催しています。

## 活躍する卒業生

#### 福岡県庁 宮本 瑛介(2015年卒)

私は福岡県職員に採用され、今年の4月から教育委員会へ出向し、現在は文化財保護課で銃砲刀剣類の登録や職員の給与・手当、福利厚生に関する業務等に従事しています。

美術品若しくは骨とう品として価値のある古式銃砲や刀剣類を登録するために原則月1回審査会を開催しています。皆さんの大事な資産ですので、分かりやすい説明が必要です。そのために、空き時間にはたくさん資料を読み、楽しみながら知識を蓄えています。

大学入学前から公務員を志望しており、在学中、大学主催の公務員講座を受講していました。学生時代を思い出すと、ハワイやイギリスでの短期留学、サークル活動など楽しい思い出ばかりです。多くの人々と交流したことで、視野が広がり、多面的な考えが出来るようになりました。これらの経験は、今の仕事にも役立っています。

県職員は定期異動で様々な部署に異動します。入庁当時は、福祉事務所で、生活保護のケースワーカーをしており、次の部署(商工部)ではビジネスプランコンテストや県内中小企業のデザイン力を向上させるワークショップの開催運営などをしていました。このように、異動で全く別の分野に移り、また一から勉強しなければなりません。新しいことに携われるため、新しく刺激的な毎日を過ごしています。今後も様々な部署で活躍できるよう頑張っていきたいと思っています。



福岡県教育委員会にて

#### JA福井県(福井県農業協同組合) 藪内 みき(2017年卒)

私は地元の福井県にUターンして旧JA福井市に就職し、現在はJA福井県で働いています。総務部で、農家に配布される広報誌を作ったり、HPやSNSの運用、日本農業新聞(農家や市場関係者などが読む全国紙)に記事を出稿するなど、主に広報業務を担当しています。大学の授業で一村一品運動など地域活性化について学んだとき、農産物を使った地域振興に興味を持ち、そういう活動に携われる仕事がしたいと思って就職活動をしました。

今は一眼レフカメラを持ち、取材活動をしています。広報誌を読んだ方から直接声をかけてもらったり、日本農業新聞に記事が大きく掲載されるととても嬉しく、仕事のモチベーションアップに繋がりました。農業・JAをもっと知ってもらうためにはどうしたら良いのか、日々奮闘しています。

日本農業新聞の通信員として積極的に取材活動を行い、紙面の充実に尽力したとして、近畿・北陸地区の通信員の中から優秀賞をいただいている。さらにはやる気が高まりました。これからも福井県の農業を盛り上げていく一員として、福井県内外にたくさん情報を発信していきたいです。



JA福井県本店にて

## 活躍する卒業生

### 株式会社リーガルコーポレーション 高橋 つぐみ(2019年卒)

私は靴の企画・開発、製造・販売を行う(株)リーガルコーポレーションに入社し、現在はグループ会社の(株)リーガル販売で営業職をしています。一言に営業と言っても、その内容は多岐にわたり、売場に立つ販売スタッフの教育・マネージメントから商品の提案、販促・フェアの企画や在庫・売上管理などです。

自分の裁量で出来る事が多い分、責任は大きいのですが、お取引先様との商談が成功して販売に結び付いた時や、販売スタッフから頼りにしてもらえる時には、やりがいを感じます。商談の席では、在学中に履修した教職課程や講演会を企画した経験、イギリスや韓国の大学での研修経験などが、今の自分のコミュニケーション力やファシリテーション力など、話す力に繋がっているなど実感することがあります。

大変な時もありますが、職場では上司や先輩が「こうしたい!」という私の提案を実現するためにサポートして下さるので、仕事がとても楽しく、この会社に入って本当に良かったと感じます。将来は営業職で培った知識や経験、会社を超えた繋がりを活かして、今以上に魅力的な靴の企画や提案をしたいと考えており、そのためにも今後も先輩方が私にしてくださったように、心遣いや感謝を忘れずに仕事に取り組んでいきたいと思えます。



自社ショールームでの商談の様子

### J:COM大分ケーブルテレコム株式会社 遠藤 美貴(2021年卒)

私は地元のJ:COM大分ケーブルテレコム株式会社に就職し、現在はカスタマーサービスグループに所属しています。テレビやネット、電話など、暮らしにかかわるサービスを幅広く扱う会社で、主に私は電話対応を行っています。サービス面や技術面など広い知識が必要な部署です。

たくさんのお客様と話すことができ、感謝の言葉をいただくことも多く、人の役に立っていると、やりがいを感じます。また、会社として、お祭りや清掃活動などの地域イベントに参加することも多いです。小さい頃からお世話になってきた地元大分に貢献できることを嬉しく感じています。

公共社会科学では、幅広く様々な分野を学ぶことができたので、自分の価値観や視野が広がり、様々な立場から物事を見る力が身につきました。社会人になり、相手の立場にたって考え行動できる人こそ、周りから信頼される社会人だと改めて感じ、私もそんな人になれるよう努力中です。

私が大学の4年間で得た1番のものは「人とつながり」です。大学で出会った方々の幅広い知識や考えを知り、吸収することで、人として成長できました。皆さんぜひ、大学4年間という時間をかけて多くの学びを得て、自分の世界を広げてください。



会社の玄関にて

### 香川県丸亀市役所 重成 佑実(2022年卒)

私は地元の香川県丸亀市役所に入庁しました。生活環境課離島振興室に配属され、市内有人島の生活環境や移住定住促進、島の魅力発信に関する業務に従事しています。丸亀市の本島と広島は「せとうち石の島のストーリー」が日本遺産に認定されており、それらのPR活動にも携わっています。地域資源を活用した地域振興に関心があり、卒業論文も瀬戸内国際芸術祭が地域に与える影響と役割をテーマに、現地調査もしながら書いたもので、離島のHPの運用やパンフレットの作成、イベントへの参加等の情報発信が、直接観光や移住への関心に繋がった時は、特にやりがいを感じます。

在学中は、社会の現状や課題、データの分析方法等幅広く学び、また、少人数体制の講義も多かったため、意見を発表する機会が多々ありました。今の仕事では、離島の生活や移住定住をめぐる課題について、多角的かつ公平な立場で考察した上で、解決策を協議していくことが大切で、大学で培った経験が活かされていると感じています。

市役所は数年毎に異動があるため、今後様々な部署を経験しますが、どの部署に配属されても、課題に対して誠実に向き合い、生まれ育った地元で貢献できる職員になりたいと思っています。



日本遺産のイベントにて

### 大牟田市立歴木中学校 坂本 滉太(2022年卒)

私は1年間の講師経験を積み、今年度より新規採用で福岡県大牟田市の歴木中学校で教員をしています。今年度は中学2年生の担任として、1年生、2年生の社会科の授業を担当し、忙しいながらも様々な楽しさがある、充実した日々を過ごしています。

教員は、数ある仕事の中でも「最も出会いのある仕事」だと思います。教員経験は2年目で、もちろんまだまだ足りませんが、この2年間だけでも数百人の子どもたちとの出会いがありました。これから先この仕事を続ける限り、この「出会い」は数千、数万と増えていきます。この「出会い」が教員として最も魅力のあるところだと感じています。

大学在学中、県立大学の教職課程で、中学社会、高校公民の免許を取得しました。教員養成課程は人数が多いわけではありませんでした。そのため、少ない人数で切磋琢磨できたことが印象に残っています。楽しいことも大変なこともすべて共有していました。また、多くの教育に関するボランティア活動に参加しました。特に、県立大学では、大学内に「不登校・ひきこもりサポートセンター」が設置されており、実際に子どもたちに勉強を教えたり、学校の先生方との交流があったり、教育現場に近い距離で多くの経験を積むことができます。それらすべての経験が実際の教育現場でも役に立っています。



社会科の授業中





FUKUOKA PREFECTURAL  
UNIVERSITY

# PUBLIC SOCIOLOGY

福岡県立大学人間社会学部 公共社会学科  
〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395 Tel:0947-42-2118 Fax:0947-42-6171  
公共社会学科ホームページ <http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/human/sociology/>

